

ScanQ モバイルスキャナ

ユーザーマニュアル



規制モデル: FF-1302S

Avision Inc.

manual-jp-250-0794-E-SQ-v300

商標

MicrosoftはMicrosoft Corporationの米国での登録商標です。
WindowsおよびWindows XP, Vista, 7, Windows 8 はMicrosoft Corporationの商標です。
本マニュアルでのその他ブランドや製品名は各社の商標または登録商標です。

著作権

全権保留。Avision Inc の書面による事前許可がない限り、電氣的、機械的、磁氣的、工学的、化学的、手書き又は他のいかなる方法でも当出版物の一部の複製、転送、転写、記憶装置への記憶、他国語またはコンピュータ一言語への翻訳はできません。

当製品によりスキャンされた内容は、国の法律やその他規制、例えば著作権法などで保護されている場合があります。ユーザーの皆様がそれら法律や規制を遵守する責任を有します。

保証

当マニュアルに含まれた内容は予告なしに変更される場合があります。

Avisionは本マニュアルの内容に関して、商品性および特定の目的に対する適合性を含む保証を、明示たると黙示たるとを問わず一切いたしません。

Avisionは当マニュアルの誤りや、本書の設置、操作、使用に関連した偶発的または因果関係による損失に関する責任は負いかねます。

FCC 無線周波数干渉通知

本機器は、無線周波エネルギーを生成、使用および放射します。製造元の取扱説明書に従わずにインストールおよび使用した場合、ラジオおよびテレビの受信に有害な干渉を及ぼす原因になります。本機器は、テストの結果FCC 規則 15 上に順ずる Class B デジタル デバイスの制限にしたがっていることが認められています。これらの制限は、本機器が居住地においてインストールされた時に、有害な干渉に対する適切な保護を提供するためのものです。ただし、特別なインストールを行った場合、有害な干渉の原因にならないことは保証できません。本機器がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を及ぼす原因かどうかは、本機器をオンとオフに切り替えることにより確認することができます。本機器が原因の場合、次の方法をいくつかお試しください。干渉を修正するようお勧めします：

- 受信アンテナの方向や位置を変える。
- 本機器と受信機の位置間隔を変える。
- 本機器を受信機が接続されている回線とは別のコンセントに接続する。

必要な場合、販売元又は熟練したラジオ/テレビ技師にお問い合わせください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。



欧州連合規定の通知

CEマークを有する製品は、以下のEU指示に準拠しています。

- 低電圧指示2006/95/EC
- EMC指示2004/108/EC
- 特定有害物質使用制限 (RoHS) 指令 2011/65/EU

Avisionが提供するCEマーク付きACアダプターを電源とする場合、この製品は正しくCEに準拠します。

この製品は、EN55022、EN55024のクラスB 制限、EN 60950の安全性要件、およびEN 50581のRoHS要件を満たしています。

*本機はクラス1レーザー製品として承認されています。

個人ユーザによる使用済み機器の廃棄について



製品またはその梱包物にこのマークがある場合、当該製品をお客様の家庭廃棄物と一緒に廃棄することはできません。健康や環境保護のために、リカバリやリサイクルの際には専門施設に当該製品をお送り下さい。使用済み機器をリサイクルする場合の廃棄場所に関する詳しい情報は、お住まい地域の市役所や家庭廃棄物処理業者、または製品の購入店にご相談下さい。

リチウム イオン バッテリーの使用上の注意

警告:

バッテリーの漏れや過熱や爆発を防止するため、次の注意事項を守ってください。

- バッテリーを真水や海水に浸漬しないでください。使用しない場合には乾燥した冷所に保存してください。
- バッテリーを火中に入れたり、熱源に近づけないでください。
- 充電には、専用の充電器のみを使用してください。
- 電極を逆に接続しないでください。
- バッテリーはコンセントに直接接続しないでください。
- プラス電極とマイナス電極をケーブルなどの金属物で短絡しないでください。バッテリーが破損することがありますので、絶対に短絡してはなりません。
- ネックレスやヘアピンなど、金属物と一緒に、バッテリーを運搬または保存しないでください。
- バッテリーは、叩いたり、投げたり、踏みつけしないでください。
- バッテリーに直接半田付けしたり、釘などのとがったものを突き刺してはなりません。
- リチウム イオン バッテリーと、他の種類のリチウム ポリマー バッテリーを、混用しないでください。
- 破損したバッテリーは使用しないでください。
- シールの端を折り曲げないでください。端の折れ曲がっている部分を開いたり変形させないでください。端の折れ曲がっている部分を面取りしないでください。
- バッテリー本体を落下させたり、叩いたり、折り曲げないでください。
- バッテリーパックの構造と包装。バッテリーの分解の禁止。
- バッテリーセルは絶対に分解しないでください。
- バッテリーの交換は、セルのサプライヤーまたはデバイスのサプライヤーが行いますので、ユーザーが行ってはなりません。
- バッテリーは、小さなお子様の手の届かない場所に置いてください。
- バッテリーの両端子間に、絶縁物以外の物が触れることがないようにしてください。

注意:

- 高温下 (強い直射日光の下や、高温の車内など) でバッテリーを使用したり、放置しないでください。過熱や火災の恐れがあります。また、性能が劣化したり寿命が短くなります。
- 強い静電気や磁場のある場所では使用しないでください。安全装置が破損したり、安全性が脅かされることがあります。
- バッテリーが漏れ、電解液が眼に入った場合: 眼をこすってはなりません。きれいな流水で眼をすすぎ、直ちに医師の手当を受けてください。放置しておくと、眼球疾患になることがあります。
- 使用中や充電中や保管中に、バッテリーが異臭を発したり、熱を発生したり、変色や変形などの異常が見られたら、直ちに機器から取り外し、充電や使用を中止してください。
- バッテリーの電極が汚れている場合、乾いた布で清掃してから使用してください。機器との接触不良により、電源が供給されなかったり、バッテリーが充電されないことがあります。
- 放電したバッテリーで火災が発生することがあります。電極にテープを張り、絶縁してください。

目次

1. 概要	1-1
1.1 はじめに	1-1
1.2 パッケージの内容	1-1
1.3 上から見た図	1-2
1.4 背面図	1-3
1.5 スキャナの概要	1-4
2. 取り付け	2-1
2.1 ご注意	2-1
2.2 保護テープを剥がします	2-1
2.3 バッテリーの取り付け	2-1
2.4 バッテリーを充電する	2-2
2.4.1 USB ケーブルを使用する場合	2-2
2.4.2 USB 電源アダプタを使用する場合	2-3
2.5 マイクロ SD カードを取り付ける	2-3
3. 操作	3-1
3.1 適切な用紙の種類と不適切な用紙の種類	3-1
3.2 スキャナの電源をオンにする	3-2
3.3 用紙を挿入する	3-2
3.4 ファイル形式を変更する	3-3
3.5 暗い写真をスキャンする	3-4
3.6 スキャナの電源をオフにする	3-5
3.7 スキャンした画像にアクセスする	3-5
3.7.1 コンピュータのシステム要件	3-5
3.7.2 Windows XP またはそれ以降に接続する	3-5
3.7.3 Macintosh コンピュータと接続する	3-6
3.7.4 スキャンした画像にアクセスする	3-6
3.7.5 スキャナの接続を外す	3-6
4. メンテナンス	4-1
4.1 詰まった紙を取り除く	4-1
4.2 スキャナを校正する	4-2
4.3 スキャナを清掃する	4-4
5. トラブルシューティング	5-1
5.1 エラー状態をクリアする	5-1
5.2 よくある質問と回答	5-2
5.3 テクニカルサービス	5-6
6. 仕様	6-1

1.

概要

1.1 はじめに

Avision パーソナルスキャナを使用すれば、印刷した写真、カード、文書、その他の用紙を素早くかつ簡単にスキャンできます。コンピュータは必要ありません。解像度を選択して、用紙をスキャナに挿入するだけで、JPG 画像ファイルを作成できます。スキャンした画像はスキャナの内蔵ディスクに保存できます（メモリカードが挿入されていない場合は、自動的に内蔵ディスクに保存されます）。または、ストレージ容量を増やすために、メモリカードを挿入することもできます。

製品を取り付け操作する前に、ほんの数分時間をさいて本書をお読みください。製品を取り付け、操作し、保守するための適切な指示が載っています。次の図は、パッケージの内容を示しています。チェックリストで、すべての付属品が揃っているか確認してください。不足している付属品がある場合、直ちに最寄りの公認販売店にご連絡ください。

1.2 パッケージの内容



スキャナ



キャリーバッグ



USB ケーブル



アダプターで micro SD (ユーザーズマニュアル)



校正カード



クリーニングクロス



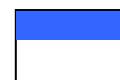
リチウムイオンバッテリー



CD (ソフトウェア)



USB 電源アダプタ



クイック ガイド

ご注意：

1. 当装置に同梱の AC DSC-5CU-05 050100 (DVE)/ リチウムイオンバッテリー NP45 (APACK) /CA NP45 (City Bright) のみをご使用ください。のみをご使用ください。他のACアダプタの使用は装置の故障の原因となり、また保証事項が無効となります。
2. パッケージを丁寧に開梱し、チェックリストに従って同梱物をチェックしてください。欠品や故障がある場合は、直ちに販売店に御連絡ください。

1.3 上から見た図













アイテム	名称	説明
1	挿入口の左端	用紙を挿入口に挿入します。印刷された面を上向きにして左端に揃えて挿入し、スキャンを開始します。
2	挿入口	用紙を挿入口に挿入します。
3	スライド式用紙ガイド	用紙を挿入口に挿入する前に、ガイドを用紙の右端までスライドします。こうすることで、スキャンの際に正しく整列するようにします。
4	電源ボタン	<ul style="list-style-type: none">このボタンを軽く押してスキヤナの電源をオンにします。電源が入ると、青い LED ライトが点滅し、Power (電源) ボタンが緑色に灯ります。電源がオンの場合は、このボタンを押してスキャン解像度を変更します。このボタンを 3 秒間押し続けると、スキヤナの電源がオフになります。青い LED ライトが 2 度点滅し、電源の LED ライトが消えます。
5	青色の LED	画像は PDF ファイル形式で保存されます。(電源をオンにした後で、電源ボタンを 3 回繰り返し押しすと、青色の LED が点灯します。)




1.4 背面図



アイテム	名称	説明
1	メモ리카ードスロット	メモ리카ードを挿入して、ストレージ容量を増やします。
2	マイクロ USB ポート	USB ケーブルを使用して、USB 電源アダプタまたはコンピュータに接続します。

1.5 スキャナの概要

名称	説明
カラーモード	すべての画像がカラーモードでスキャンされます。
スキャン解像度	<p>スキャン解像度は DPI (ドット/インチ) 単位です。DPI が高いほど、スキャナは元の画像の詳細をキャプチャするので、スキャンした画像の品質が良くなります。しかしながら、DPI が高いと、画像サイズが大きくなって、ストレージ領域を多く使用します。</p> <p>スキャナには 3 つの解像度モードがあります。それぞれの解像度モードは、電源  ボタンの色で分かります：</p> <p> = 300 dpi (電源をオンにした際のデフォルト解像度)</p> <p> = 600 dpi ファイン解像度</p> <p> = 1200 dpi 最大解像度</p> <p>スキャン解像度を変更するには、希望する解像度の色に変わるまで  ボタンを押します。</p>
保存形式	<p>スキャンした画像は JPEG 形式または PDF 形式で保存されます。</p> <p>JPEG: スキャナがオンで、緑色の LED が点灯している場合は、300 </p> <p>PDF: スキャナがオンの場合に、 をもう一度 3 回押すと、青色の LED と緑色の電源 LED が同時に点灯します。この場合は、画像は PDF ファイル形式で保存されます。緑色の電源 LED が点灯している場合は、300 dpi の PDF ファイル形式でスキャンします。電源ボタンをもう一度押します。オレンジ色の電源 LED が点灯している場合は、600 dpi の PDF ファイル形式でスキャンします。電源ボタンをもう一度押します。赤色の電源 LED が点灯している場合は、1200 dpi の PDF ファイル形式でスキャンします。</p> <p> = PDF + 300 dpi /  = PDF + 600 dpi /  = PDF + 1200 dpi</p>

スキャナステータス インジケータ	<p>電源  ボタンは、操作に従って、点灯する色または点滅する色でスキャナの状態を表示します。次を参照してください。</p> <p>◆ 電源  ボタンが消灯している場合は、スキャナの電源はオフです。</p>	
	LED ライト	意味
	緑色で点灯	300 DPI (電源をオンにした際のデフォルト解像度)でスキャンする準備ができました
	緑色でゆっく	300 DPI でスキャンしています スキャナの較正処理を開始すると、緑色でゆっくり点滅して、スキャナが「較正」モードであることを表します。詳細については、4-2 ページの「スキャナを較正する」のセクションを参照してください。
	オレンジ色で	600 DPI でスキャンする準備ができました
	オレンジ色で	600 DPI でスキャンしています
	赤色で点灯	1200 DPI でスキャンする準備ができました
赤色でゆっく	1200 DPI でスキャンしています	
エラーインジケータ	<p>電源  ボタンが早く点滅する場合は、エラー状態を意味します。次を参照</p>	
	LED ライト	意味
	赤色で早く点滅	フィーダーが詰まっているか、または、スキャナのカバーが開いています。
緑色、オレンジ色、または、赤色で早く点滅	内蔵ディスクまたはメモ리카ードが一杯です (点滅する色は DPI 設定によって異なります)。または、スキャンしたページが許容長を超えています。	

ストレージ容量	<p>内蔵ディスク: スキャナの内蔵ディスクのメモリ容量は約 128MB です。画像を保管するために使用できます。メモ리카ードが挿入されていない場合は、スキャンしたファイルは、スキャナの内蔵ディスクが一杯になるまで(300 DPI 設定の場合は 2MB 未満の残り容量、600 DPI 設定の場合は 5MB 未満の残り容量、1200 DPI 設定の場合は 15MB 未満の残り容量)、自動的にスキャナの内蔵ディスクに保管されます。内蔵ディスクが一杯になった場合は、メモ리카ードを挿入して、スキャンを続けるか、または、スキャンした画像を内蔵ディスクからコンピュータ上のフォルダへ移動します。</p> <p>メモ리카ード: SD / SDHCカードは32GBまでは、スキャナと互換性があります。ストレージ容量を追加するために、メモ리카ードを使用することを推奨します。大量にスキャンしたり、高い解像度でスキャンすると、スキャナの内蔵ディスクは直ぐに一杯になります。メモ리카ードに保管できる画像の数は、元のサイズと解像度設定によって異なります。</p>
----------------	--

スキャンの際の 注意事項	<ul style="list-style-type: none">■ 大きいスキャンプロジェクトの場合は、スキャンを開始する前にメモ리카ードを挿入することを推奨します。こうすることで、スキャンしたファイルを内蔵ディスクからメモ리카ードやコンピュータ上のフォルダへ移動するために、頻繁に停止する必要がないようにします。■ スキャン中は、メモ리카ードを取り外したり、電源供給を切断しないでください。■ 用紙は平らにして挿入してください。こうすることで詰まりを防止します。■ スキャンした画像の品質を最適化するために、用紙に指紋、油、汚れ、および、埃が付かないようにしてください。用紙を挿入口の左端に揃えて挿入し始めると、フィーダーのセンサーがトリガされます。用紙は自動的に挿入されます。わずかに減速してから、スキャンを完了します。■ 正しくクロープする：<ul style="list-style-type: none">◆ 用紙を挿入口の左端に揃えます。◆ ガイドスライドを用紙の右端に揃えます。◆ スキャナの後ろに、用紙を排出するための十分な空間があることを確認してください。■ 同じ文書を異なる方向にスキャンすると、スキャンした画像の色のトーンと明るさが多少異なる場合があります。これは誤動作ではありません。■ メモ리카ードが一杯になると、インジケータライトが点滅し始めます（色は DPI 設定によって異なります）。他のカードを使用するか、または、一杯になったカードの領域を空にします。■ スキャナが対応するのは、FAT16 または FAT32 ファイルシステムのメモ리카ードだけです。NTFS ファイルシステム、および、その他のファイルシステムに対応しません。
-----------------	--

2. 取り付け

2.1 ご注意

- スキャナーを直射日光にさらさないでください。直射日光または高熱にさらすとユニットの故障の原因となります。
- スキャナーを湿気または埃の多い場所に置かないでください。
- スキャナーは水平でなめらかな面に置いてください。傾斜や凹凸のある面では機械的不具合や給紙に問題の生じる場合があります。
- スキャナーの箱および包装材料は後での梱包用に保存して置いてください。

2.2 保護テープを剥がします

図のように、スキャナとフィーダードック内部の保護テープを剥がします。



2.3 バッテリーの取り付け

1. スキャナのバッテリーカバーを押して外します。



-
2. バッテリーケースにバッテリーを入れます。必ず正しい方向に入れてください。バッテリーの銅板が、バッテリーケースの銅板に接触していることを確認してください。注: 付属のバッテリーのみを使用してください。



3. バッテリーカバーを挿入します。

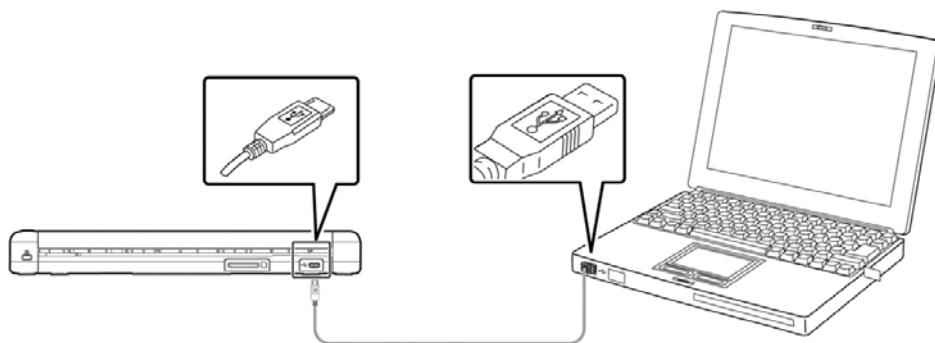


2.4 バッテリーを充電する

バッテリーは、USB ケーブルを使用してコンピュータに接続するか、または、USB 電源アダプタを使用して電気コンセントに接続して充電します。

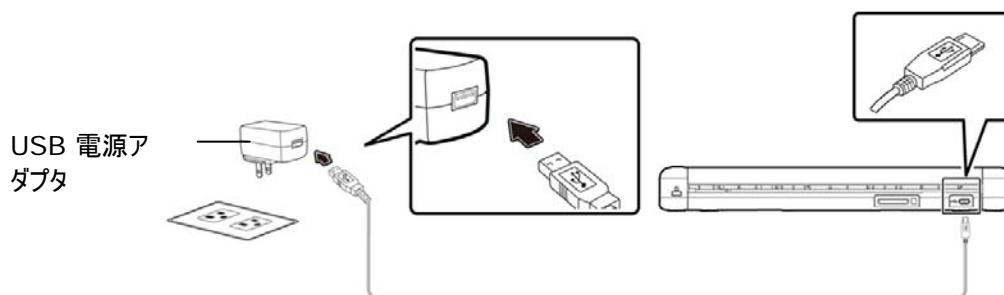
2.4.1 USB ケーブルを使用する場合

1. スキャナの電源をオフにします。
2. マイクロ USB コネクタをスキャナの USB ポートに接続します。
3. もう一方の USB コネクタをコンピュータの USB ポートに接続します。



2.4.2 USB 電源アダプタを使用する場合

1. スキャナの電源をオフにします。
2. マイクロ USB コネクタをスキャナの USB ポートに接続します。
3. もう一方の USB コネクタを USB 電源アダプタの USB ポートに接続します。

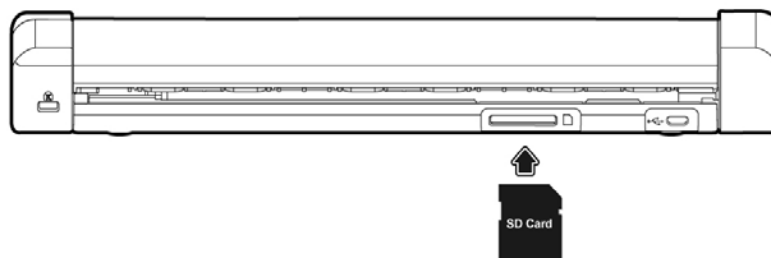


重要:

- バッテリーの充電中はスキャナの電源をオンにしないでください。
- 初めて使用する場合は、バッテリーを最低 2 時間充電してください。
- スキャナーはバッテリーなしで使用できます。スキャナーを付属の USB ケーブルでコンピューターに接続、または USB ケーブルで USB 電源アダプターを通じてスキャナーをコンセントに接続します。
- バッテリーの充電中は、青色の LED ライトが点灯します。充電が完了すると LED ライトは消灯します。
- バッテリーがフルに充電されると、A4 サイズが 300 dpi で 200 ページ、600 dpi で 150 ページ、または 1200 dpi で 85 ページ、スキャンすることができます。

2.5 マイクロ SD カードを取り付ける

スキャナの内蔵ディスクの容量は約 128MB です。画像を保管するために使用できます。マイクロ SD カードをスキャナの SD スロットに挿入して、ストレージ容量を増やすことができます。カチッと音がして止まるまで SD カードが丁寧に押し込まれます。



3. 操作

3.1 適切な用紙の種類と不適切な用紙の種類

適切な用紙

スキャナは、次の種類の用紙を最適にスキャンできるように設計されています：


- 写真と文書(3"x5", 4"x6", 5"x7", 8"x14") (76 x 127mm, 102 x 152 mm, 127 x 177 mm, 203 x 356 mm)
- 名刺[標準の3.5"x 2" (89 x 50 mm)以上]
- 300 dpi 専用の長いページ (8.5"x36") (216 x 916 mm)

不適切な用紙の種類

次の種類の用紙はスキャンしないでください。スキャナが誤動作したり、挿入口で紙が詰まることがあります。

- 0.8 mm以上の厚みのある用紙
- 短辺の長さが50 mm未満の用紙
- 黒または暗い色が多い用紙
- 周囲が暗い色で囲まれている用紙
- 印刷媒体(新聞紙、雑誌など)
- 柔らかくて薄い用紙 (薄紙や布など)
- 丸まったりしわが寄った用紙
- ホチキスの針やペーパークリップの付いた用紙。
- 受け入れ可能なサイズを超える用紙 – 8.5" (216 mm, 幅) x 14" (356 mm, 長さ) (600 dpi/1200 dpi)

3.2 スキャナの電源をオンにする

電源  ボタンを押してスキャナの電源をオンにします。電源が入ると、青い LED ライトが点滅し、Power (電源) ボタンが緑色に灯ります。緑色で点灯する場合は、300 dpi のデフォルト解像度であることも意味します。スキャン解像度を変更するには、LED ライトの色が希望する解像度の色に変わるまで電源ボタンを繰り返し押します。



= 300 DPI (スキャナの電源をオンにした際のデフォルト解像度)



= 600 DPI



= 1200 DPI

3.3 用紙を挿入する

重要!

- ページは一度に 1 枚ずつ挿入して、前のページのスキャンが終了してから次のページを挿入してください。そうしないと、スキャナが誤動作することがあります。
- 高感度の用紙検出器が搭載されています。用紙を挿入口に押し入れないでください。用紙を挿入口に押し入れると、画像の上部が切れることがあります。写真(カード)の送りが開始したら、手を放してください。

1. 用紙の表を上向きにして挿入して、フィーダーの左端に揃えます。ガイドレバーをスライドして用紙の右端に揃えます。



2. 用紙を挿入口に丁寧に押し入れ、送りが開始したら手を放します。送りが開始すると、スキャナはわずかに一時停止してから、送りを続けます。
3. インジケータライトの点滅を停止してから、次の用紙を挿入してスキャンしてください。
4. デフォルトでは、すべての画像は JPEG ファイル形式で保存されます。スキャンが完了すると、スキャナがメモリーカードまたはフラッシュカード上に "DCIM\100PHOTO" という名前のサブフォルダのあるフォルダを作成します。このフォルダに、最初の 9999 のスキャン画像を保管できます。その後、次の 9999 のスキャン画像用に "DCIM\101PHOTO" フォルダが作成されます。




(それぞれのスキャン画像には、IMG で始まり、画像の保管順序を示す 4 桁の番号が付いたファイル名が付きます。IMG_0001.jpg、IMG_0002.jpg、など。)

注記:

- インジケータが点滅中はメモ리카ードを取り外さないでください。
- メモ리카ードがほぼ一杯(1MB 未満)になると、インジケータライトが点滅します。必要な場合は、別のカードを使用するか、または、ファイルをいくつか削除してください。
- 用紙にホチキス、クリップ、または、付箋が付いている場合は、取り外してから挿入してください。そうしないと、スキャナが破損することがあります。

3.4 ファイル形式を変更する

スキャナは 2 種類のファイル形式に対応します。デフォルトでは、すべての画像は JPEG 形式で保存されます。または、PDF ファイル形式に切り替えることができます。文書を PDF ファイル形式で保存する場合は、次の手順に従ってください:

1.  を押してスキャナの電源をオンにします。
2.  をもう一度 3 回押します。青色の LED ライトが点灯します。画像は PDF ファイル形式で保存されます。 をもう一度押して解像度を変更します。



=PDF ファイル形式 + 300 dpi



=PDF ファイル形式 + 600 dpi



=PDF ファイル形式 + 1200 dpi

3.5 暗い写真をスキャンする

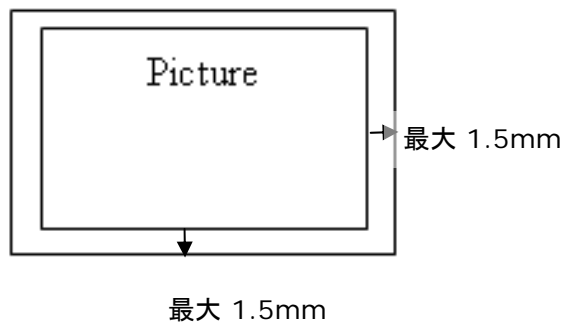
スキャナにはクロップ機能が内蔵されています。クロップ機能は、スキャン処理中にクロップ枠の背景値を使って、暗い端や暗い領域を自動的に検出してクロップします。正しくクロップするために、用紙は挿入口の左端に真っ直ぐに揃えてください。また、スキャナの後ろに、用紙を排出するための十分な空間があることを確認してください。平らで整頓された面でスキャンすることを推奨します。

次の例は、4"x6" の写真を自動クロップ機能を使用してスキャンした場合と、自動クロップ機能を使用なかった場合の比較です：




元の写真/自動クロップオン(デフォルト)

元の写真を僅かに歪んだ状態で挿入すると、元の写真は事前設定した最大量しかクロップされません。次の図を参照してください：



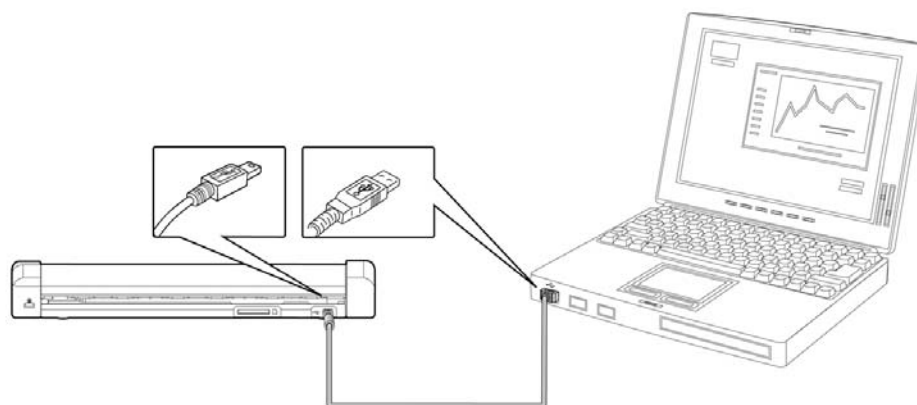
3.6 スキャナの電源をオフにする

スキャンが完了したら、Power (電源)  ボタンを 3 秒間押し続けてスキャナの電源を切ります。青い LED ライトが 2 度点滅し、電源の LED ライトが消えます。

- ◆ スキャナを 3 分間操作しないと、デフォルトでは、節電モードによって、スキャナは自動的にオフになります。

3.7 スキャンした画像にアクセスする

スキャナをコンピュータに接続すれば、外付けカードリーダーを使用しなくても、スキャナの内蔵ディスクまたは挿入したメモ리카ードに保管したスキャン画像にアクセスできます。スキャナをコンピュータに接続して、スキャンした画像ファイルを表示したり、1 つのストレージ領域からその他のストレージ領域にファイルをコピーしたり貼り付けできます。また、不要なファイルを削除することもできます。



3.7.1 コンピュータのシステム要件

オペレーティングシステム: Windows – XP、Vista、Windows 7、Windows 8

Macintosh – Mac OS 10.5、10.6、またはそれ以降

USB ポート: USB 2.0

3.7.2 Windows XP またはそれ以降に接続する

1. スキャナの電源をオンにします。
2. スキャンした画像が保管されているメモ리카ードをスキャナのメモ리카ードスロットに挿入します。*画像が内蔵ディスクに保管されている場合は、この手順はスキップしてください。*
3. 付属の USB ケーブルをスキャナとコンピュータに接続します。
4. コンピュータは、カードまたはスキャナをリムーバブルディスクとして認識します。

-
5. [リムーバブルディスク] をクリックすると、“DCIM” のフォルダが作成され、すべての PDF ファイルは “200DOC” のサブフォルダに、JPEG ファイルは “100PHOTO” のサブフォルダに保存されます。ファイル名は IMG_0001.pdf または IMG_0001.jpg から始まります。

3.7.3 Macintosh コンピュータと接続する

コンピュータがスキャナの内蔵ディスクまたは挿入したメモ리카ードを認識すると、デスクトップにボリュームアイコンが表示されます。

内蔵ディスクまたはメモ리카ードのコンテンツを表示するには、このアイコンをダブルクリックしてファインダウィンドウを開きます。

3.7.4 スキャンした画像にアクセスする

スキャンされた画像には、IMG_で始まり、画像の保存順を示す4桁の番号が付いた名称が与えられます。例えば、IMG_0001.jpg、IMG_0002.jpg、IMG_0001.pdf、IMG_0002.pdfなどです。

JPG ファイルは、DCIM\100PHOTOとタイトルの付いたサブフォルダに保存されます。フォルダに9999の写真ファイルが保存されると、101PHOTOとタイトルの付いた別のサブフォルダが順に、199PHOTOまで自動的に作成されまで作成されます。

PDF ファイルは、DCIM\200DOCとタイトルの付いたサブフォルダに保存されます。フォルダに9999の文書ファイルが保存されると、201DOCとタイトルの付いた別のサブフォルダが順に、299DOCまで自動的に作成されまで作成されます。

3.7.5 スキャナの接続を外す

注意: コンピュータが保管したファイルにアクセスしている間は、メモ리카ードを取り外したり、USB ケーブルの接続を外さないでください。

スキャナを Windows PC から取り外す

1. Windows のシステムトレイで、次のように [ハードウェアの取り外し] アイコンをクリックします。
2. [USB マスストレージデバイスの安全な取り外し] – [ドライブ (<ドライブ文字:>)] をクリックします。
3. 「ハードウェアを安全に取り外すことができます」というメッセージが表示されたら、スキャナの USB ケーブルを安全に取り外すことができます。

Macintosh からスキャナを取り外す

1. デスクトップ上のボリュームアイコンをクリックして、ゴミ箱へドラッグして移動します。

または

ファインダウインドウのボリューム名の横にあるイジェクトボタンをクリックします。

2. スキャナをコンピュータから取り外します。

4. メンテナンス

4.1 詰まった紙を取り除く

フィーダーに詰まった紙を取り除くには、電源ボタンを 3 秒間押し続けていったん電源をオフにしてから、もう一度電源をオンにします。詰まった写真が自動的に排出されます。

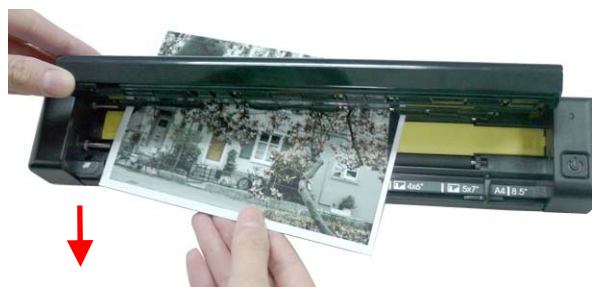


用紙が排出されない場合は、次の手順に従って用紙を取り除きます：

1. 1本の親指をフィーダーの上に置き、もう1本の親指をカバーの上に置いて、支えながらカバーを開きます。丁寧にしっかりと親指をフィーダー内に押し入れて、カバーを開きます。こうすることで、スキャナの上部をスキャナの底部から解除します。



2. 用紙を取り除きます。



3. カバーを閉じ、用紙を挿入し直して、もう一度スキャンします。

4.2 スキャナを校正する

校正が必要なのは、スキャンした画像が不鮮明な場合、色が異常な場合（例えば、通常より暗い場合）、8,000 回を超えてスキャンした後、または、スキャナを長期間使用せずに保管していた場合だけです。校正処理で密着型センサーをリセットして、色とシャープネスの精度を回復します。

- ◆ スキャナを再校正してディスクを再フォーマットする前に、内蔵ディスクに保管した写真とその他のスキャンした画像をバックアップしてください。

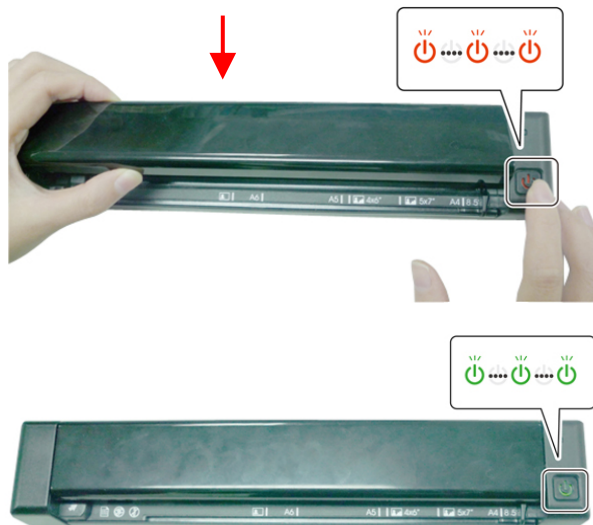
1. スキャナの電源がオフになっていることを確認して、スキャナのカバーを開きます。



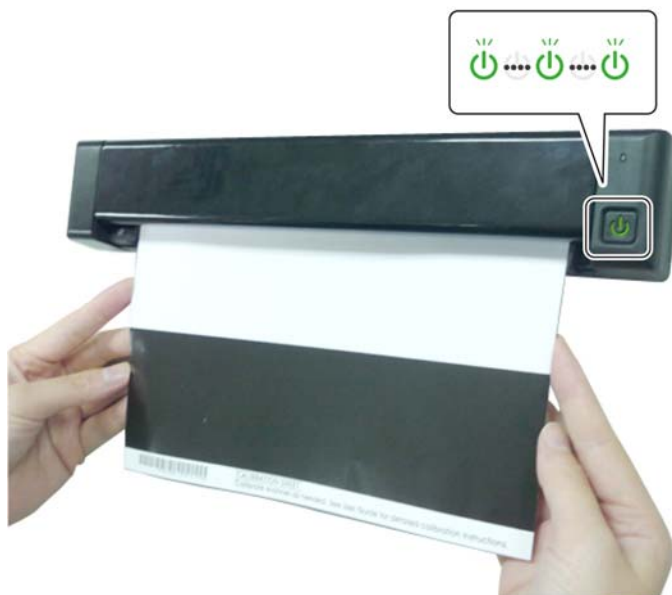
2. 電源ボタンを押してスキャナを再起動します。スキャナのカバーが開いているので、**赤色**の LED が点滅します。



3. 校正モードを開くには、スキャナのカバーを閉じて、電源ボタンを押し続けます。次に、電源ボタンを放します。校正モードになると **緑色**の LED が点滅します。



- ◆ 電源ボタンは長く押し続けしないでください。電源ボタンを 3 秒以上押し続けると、スキャナの電源がオフになり、処理を始めからやり直さなければなりません。
- 4. a) 下の写真のように、校正シート(付属品)の端を支えて、文章のある面を上向きにし、白い領域からスキャナのフィーダーに挿入します。
b) この処理で内蔵ディスクを自動的にフォーマットして、書き込みエラーがないようにします。



- 5. 校正処理が完了すると、スキャナの電源は自動的にオフになります。
- 6. スキャナの電源をオンにして、通常通り使用を続けます。

4.3 スキャナを清掃する

スキャンした画像の品質を維持して、埃が堆積することを防止するために、スキャナ(外側のケースと送りローラー)はおおよそ 200 回スキャンする毎に清掃してください。または、スキャンした画像に線や縞が入る場合も清掃してください。

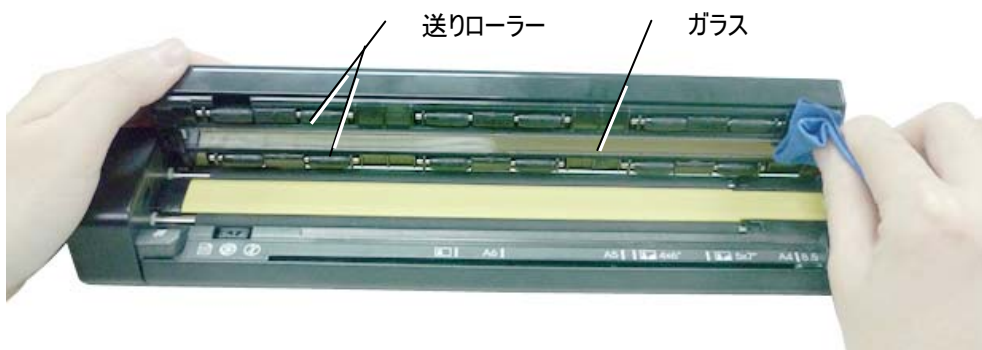
- スキャナを清掃する場合は、推奨ツールおよび付属ツールだけを使用してください。

警告: スキャナの清掃には、溶剤や腐食性液体(アルコール、クロシンなど)は使用しないでください。プラスチック材料が回復不能な損傷を受けることがあります。

1. 1本の親指をフィーダーの上に置き、もう1本の親指をカバーの上に置いて、支えながらカバーを開きます。丁寧にしっかりと親指をフィーダー内に押し入れて、カバーを開きます。こうすることで、スキャナの上部をスキャナの底部から解除します。



2. スキャナのガラスと送りローラーを丁寧に拭いて、清掃用布(付属品)を使って CIS カバーを清掃します。



5. トラブルシューティング

5.1 エラー状態をクリアする

スキャン中にエラーが発生すると、LEDライトが赤い色で点滅します。エラー状態をクリアするには、次の表を参照してください。

赤いLEDが点滅する回数	説明	復元法
2 (続き)	用紙詰まり	紙を取り除き、もう一度試してください。紙が取り除かれるまで、赤いLEDライトは点滅を止めません。
3 (続き)	データがありません	スキャンされた画像はありません。スキャンの開始時点で紙は取り除かれています。
	カードまたは内蔵ディスクが一杯になっています	カード内の画像を削除してスペースを空けるか、新しいカードを挿入してください。 スキャナの内蔵ディスクのメモリ容量は約 128MB です。画像を保管するために使用できます。メモ리카ードが挿入されていない場合は、スキャンしたファイルは、スキャナの内蔵ディスクが一杯になるまで (300 DPI 設定の場合は 2MB 未満の残り容量、600 DPI 設定の場合は 5MB 未満の残り容量、1200 DPI 設定の場合は 15MB 未満の残り容量)、自動的にスキャナの内蔵ディスクに保管されます。内蔵ディスクが一杯になった場合は、メモ리카ードを挿入して、スキャンを続けるか、または、スキャンした画像を内蔵ディスクからコンピュータ上のフォルダへ移動します。
	カードまたは内蔵ディスクが認識されません	<ul style="list-style-type: none"> メモ리카ードが挿入されていない場合、スキャナの内蔵ディスクを再フォーマットしてください。再フォーマットするには、スキャナをコンピュータに接続し、リムーバブルドライブを右クリックし、「デバイスの再フォーマット」を選択します。 メモ리카ードが挿入されている場合、メモリを再フォーマットするか、新しいカードを挿入してください。

4 (続き)	較正失敗	スキャナを再較正してください(「スキャナの較正」セクションを参照してください)。
5 (続き)	バッテリー残量がありません	バッテリーを充電してください。バッテリーの残量が25%を下回ると、赤いLEDライトが警告として点滅します。画像の不完全なスキャンやその他の操作上の問題を回避するためには、バッテリーを充電してください。
6 (続き)	カバーが開いています	カバーを閉じ、もう一度試してください。カバーが閉じられるまで、赤いLEDライトは点滅を止めません。

5.2 よくある質問と回答

質問:	スキャナが 300 dpi、600 dpi、または、1200 dpi のどの解像度でスキャンしているか確認するにはどうすればよいですか？
回答:	電源ボタンの色で選択した解像度が分かります: 緑色 = 300 DPI、オレンジ色 = 600 DPI、赤色 = 1200 DPI。電源ボタンを押して解像度を変更します。

質問:	スキャンした画像が PDF ファイル形式で保存されたことを確認するにはどうすればよいですか？
回答:	青色の LED ライトが点灯している場合は、スキャンした画像は PDF ファイル形式で保管されます。(スキャナの電源をオンにして、電源ボタンを 3 回押すと、青色の LED ライトが点灯します。)

Q:	スキャナの電源がオンにならないのはどうしてですか？
A:	<ol style="list-style-type: none"> 1. スキャナがフィーダードックに正しくはめ込まれていません。 2. バッテリーに十分な残量がないか、正しく挿入されていない可能性があります。

Q:	スキャン中に画像をメモ리카ードに保存できませんが？
A:	SD™カードが正しく挿入され、適切な空き容量があることを確認してください。

Q:	USBケーブルを通して接続されているとき、コンピュータでスキャナを識別できないのはどうしてですか？
A:	ケーブル接続が正しく、しっかり固定されていることを確認してください。必要に応じて、コンピュータを再起動します。

Q:	スキャンした画像が歪むのはどうしてですか？
A:	スキャン速度が速すぎます。もっとゆっくりスキャンし直してください。

Q:	スキャンした文書に奇妙な線が出るのはどうしてですか？
A:	<p>以下を確認してください：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 元の用紙に筋や汚れが付いていますか？ 2. スキャンの前に元の用紙の汚れや埃を取り除いてください。 3. 付属のクリーニングクロスでローラーとガラスを洗淨します。(セクション「ローラーとガラスを洗淨する」を参照してください)

Q:	スキャンした画像の背景に赤あるいはグレーのラインが入るのはなぜですか？
A:	スキャンの実行に対して充電が不足しています。バッテリーを充電して再スキャンしてください。

Q:	スキャナに触ると温かく感じますが？
A:	スキャナを長時間使用していると多少の熱を発生することがありますが、それは正常です。ただし、スキャナから異臭がしたり、スキャナに触ると少し熱く感じる場合、直ちにスキャナの電源をオフにしてください。

質問:	ステータスインジケータが早く点滅して、スキャンできない場合は、どうすればよいですか？
回答:	<p>次を確認してください:</p> <ul style="list-style-type: none">■ スキャナの内蔵ディスクが一杯になっていませんか？ スキャナをコンピュータに接続して、ファイルを移動または削除してください。 <i>300 DPI 設定の場合は 2MB 未満の残り容量、600 DPI 設定の場合は 5MB 未満の残り容量、1200 DPI 設定の場合は 15MB 未満の残り容量になると、スキャナは内蔵ディスクが「一杯」であると認識して、電源ボタンが点滅します。</i>■ メモリカードが一杯になっていませんか？ メモリカードの残り容量が 15MB 未満になると、電源ボタンが点滅します。必要な場合は、他のカードを使用してください。■ メモリカードはメモリカードスロットに正しく挿入されていますか？ カードを挿入し直して、もう一度お試しください。メモリカードのファイル形式が FAT または FAT32 であることを確認してください。NTFS など、その他ファイル形式には対応しません。必要な場合は、スキャナで使用するために、メモリカードを再フォーマットしてください。■ フィーダーに紙が詰まっていますか？ スキャナの電源をいったんオフにしてもう一度オンにし、用紙送りを続けます。用紙を取り除くことができない場合は、カバーを開けて、用紙を丁寧に引き出してください。■ カバーが開いていませんか？ カバーが定位置にしっかり収まっていることを確認してください。■ 前の用紙のスキャン処理が終了する前に、次の用紙を挿入しませんでしたか？ スキャナの電源をいったんオフにしてからもう一度電源をオンにして、再度お試しください。前の用紙のスキャン処理が完了してから、次の用紙をスキャンしてください。■ 用紙の長さが許容サイズを超えていませんか？ 詳細については、「適切な用紙の種類と不適切な用紙の種類」のセクションを参照してください。

Q:	メモ리카ードに保存したとき、スキャンしたすべての画像が同じ日付になるのはどうしてですか?これらの画像をリアルタイム表示することは可能ですか?
A:	<p>はい。デバイスのリアルタイムクロックを設定するには次のステップに従ってください。</p> <ol style="list-style-type: none">1. Avison ウェブサイト (http://www.avision.com) の製品ページまたはサポートページでこのモバイルスキャナを探し、time.txt ファイルをダウンロードします。2. スキャナに microSD カードが挿入され、バッテリーがフル充電されていることを確認してください。3. スキャナの電源をオンにし、USB ケーブルでコンピュータに接続します。コンピュータは、スキャナをリムーバブルディスクとして認識します。4. time.txt ファイルをリムーバブルディスクドライブの root ディレクトリにコピー / ペーストします。5. テキストファイルを開きます。テキストファイルには、YYYY (4 桁)/MM (2 桁)/DD (2 桁)/HH (2 桁)/MM (2 桁) 形式の文字列があります。これは年/月/日/時/分を示します (例: 2013/06/15/07/30)。6. 日付と時間を変更して値を修正し、その後ファイルを保存します。7. スキャナの電源をオフにしてからオンにします。これでデバイスのリアルタイムクロックの設定が完了しました。 <p>文書をスキャンしてから、画像をメモ리카ードに保存します。画像が正しい日付と時間で表示されます。</p> <hr/> <p>注記:</p> <ul style="list-style-type: none">● 電力が低い場合はバッテリーを充電してください。● バッテリーを交換した、またはバッテリーの電力が全くない場合は、バッテリーを再充電して、再度上記リアルタイムクロック設定のステップを繰り返す必要があります。

5.3 テクニカルサービス

Avisionにご連絡になる前に、下記のデータをご用意ください。

- スキャナーのシリアル番号(スキャナー下部ないし背面にあります。)
- ハードウェア構成 (例：ホストCPUタイプ、RAMサイズ、ディスク空き容量、ディスプレイカード、インタフェースカードなど)

下記にご連絡ください：

本社

Avision Inc.

No. 20, Creation Road I, Science-Based Industrial Park,
Hsinchu 300, Taiwan, ROC
TEL : +886 (3) 578-2388
フリーダイヤル : 0800-600-785
FAX : +886 (3) 577-7017
E-メール : service@avision.com.tw
ウェブサイト : <http://www.avision.com.tw>

米国およびカナダ地区

Avision Labs, Inc.

6815 Mowry Ave., Newark CA 94560, USA
TEL : +1 (510) 739-2369
フリーダイヤル : 1-888-909-7888
FAX : +1 (510) 739-6060
E-メール : support@avision-labs.com
ウェブサイト : <http://www.avision.com>

ウェブサイト

Avision (Suzhou) Co., Ltd.

No.9, Suhong West Road, Suzhou Industrial Park,
Jiangsu Province, PRC 215021
TEL: +86-512-62565888
フリーダイヤル: +86-400-185-8566
FAX: +86-512-62560115
E-メール: shop@avision.com.cn
ウェブサイト: <http://www.avision.com>

ヨーロッパエリア

Avision Europe GmbH

Bischofstr. 101 D-47809 Krefeld, Germany
TEL : +49-2151-56981-40
FAX : +49-2151-56981-42
E-メール : info@avision-europe.com
ウェブサイト : <http://www.avision.de>

6. 仕様

仕様は予告なく変更されることがあります。

アイテム		説明
Regulatory Model Number		FF-1302S
画像技術		CIS(密着型イメージセンサー)
最大用紙サイズ		600 dpi/1200 dpi では 8.5" x 14" (216 x 356 mm) 300 dpi では 8.5" x 36" (216 x 914 mm)
自動電源オフ		3 分
インターフェース	メモ리카ード	メモ리카ードスロット
	USB	USB 2.0 仕様でマイクロ USB ポートに対応
マストレージ		内蔵 128MB NAND フラッシュ
送り		ツインローラー
対応オペレーティングシステム		Windows XP/Vista/7/8、Mac OS 10.5 またはそれ以降
出力ファイル形式		JPEG、PDF
スキャン解像度		300 DPI (デフォルト)、600 DPI、および、1200 DPI (フルカラー)
電源 USB		5Vdc, 500mA
バッテリー		3.7Vdc, 700mAh
バッテリー駆動時間		200 枚 (A4、カラー、300 dpi) 150 枚 (A4、カラー、600 dpi) 85 枚 (A4、カラー、1200 dpi)
正味重量		0.88 lbs (400g)
寸法 (幅 x 長さ x 高さ)		11.4" x 2 x 1.4" (290 x 52 x 35 mm)
動作環境		温度: 5°C ~ 35°C (59°F ~ 95°F) 湿度: 20% ~ 85% RH